

耳鼻咽喉科

統括部長 大塚雄一郎

地域中核病院の役割を果たすために、外来診療における紹介・逆紹介率向上に努めています。

I 業務体制

1) 外来・手術（令和2年度）

	午前	午後
月曜日	新患・再診	手術
火曜日	新患 手術	手術 外来特殊検査 補聴器外来
水曜日	新患・再診	再診 特殊検査
木曜日	新患 手術	手術 外来特殊検査 補聴器外来
金曜日	新患・再診 手術	再診 手術

*甲状腺がんに対するアブレーションを行っています。

2) 入院 平成24年度～ 定床12

各種手術症例、急性感染症（扁桃炎・頸部膿瘍・乳様突起炎など）、眩暈、睡眠時無呼吸検査

診療スタッフ/令和2年度

（常勤）大塚雄一郎、久満美奈子、吉川直子

（非常勤）嶋田耿子、小林由実、船越うらら、荻州えりも

II 1年間の経過・総括

千葉市において当院は地域中核病院の役割を果たしております。とくに小児科・新生児科が充実しており小児耳鼻咽喉科疾患の緊急症例や小児手術症例、新生児・小児難聴症例が多いほか、新生児の喉頭気管狭窄症例があることが特徴です。日本耳鼻咽喉科学会から新生児聴覚スクリーニング後の二次聴力検査機関に指定されております。

近隣の先生方から多数のご紹介をいただき、令和元年までは手術件数は順調に推移しておりました。特に内視鏡下の顎下腺唾石手術は千葉県内では当院しか行っておらず、市外からも多数のご紹介をいただいております。また中耳手術も近隣の先生方に浸透し紹介症例も増えておりました。しかしコロナウイルスによるパンデミックに際して、耳鼻咽喉科の手術や検査が感染拡大の原因となるとあいついで報告されました。実際に海外ではコロナウイルス感染者の手術を執刀した耳鼻科医がコロナに感染して死亡するとの事例が報告されました。以上の海外からの報告をうけて日本耳鼻咽喉科学会では、不要不急の手術の中止勧告を出しました。当院も例外ではなく令和2年度の手術件数は激減しております。またこれまではご紹介いただき蓄積した症例は千葉県や全国の学会で積極的に報告して周知を図っておりました。しかし、令和2年後はコロナウイルス感染拡大のため満足な学会発表ができませんでした。

コロナウイルスの感染はまだ収束が見えませんが、世間の落ち着きとともに外来患者数・手術件数とも順調に推移しております。まだまだ油断はできませんが、今後も近隣の先生方との連携を通して

耳鼻いんこう科の地域医療の充実と発展に努めて参ります。

Ⅲ 手術実績

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度
扁桃・ アデノイド手術	141	131	141	149	161	194	297	170	187	151	37
顎下腺唾石手術 (内視鏡・口内 法)							15	25	20	37	35
内視鏡下副鼻腔 手術	29	34	40	38	50	51	62	78	85	74	39
鼻中隔矯正・下 甲介手術	3	3	7	5	9	14	32	45	54	82	22
頸部郭清術							2	3	0	0	0
甲状腺手術	3	16	19	10	7	11	18	11	14	15	14
耳下腺・顎下腺 手術	9	5	12	11	5	10	10	13	8	6	13
頸部腫瘍摘出術	15	4	10	6	4	4	13	10	8	12	19
喉頭微細手術	12	17	19	10	7	10	17	17	6	14	15
耳瘻管摘出術	17	8	9	4	10	12	3	11	16	15	13
気管切開	6	5	6	5	5	3	10	15	3	6	7
外耳道手術							1	7	7	13	4
鼓膜形成術							2	17	21	18	9
鼓室形成術	3	5	6	4	0	0	3	10	12	18	21
乳突洞削開術							2	3	10	12	12
鼓膜チューブ挿 入術(全麻下)	76	44	63	78	98	60	58	50	51	56	21
その他(腫瘍な ど)	7	11	7	10	6	5	14	6	16	19	14
その他(感染・ 異物・外傷など)	11	14	10	18	16	18	7	12	30	9	10
計	333	297	349	348	378	392	581	503	548	557	305